

平成27年度第2回鶴岡市総合教育会議 次第

平成27年12月17日(木)
13時30分～ 市役所庁議室

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 鶴岡市教育大綱の策定について

4 当面の課題について

(1) 平成28年度鶴岡市教育関係重点施策について

- ・鶴岡市の学力向上策について 資料1
- ・「Q-U」の複数回実施について 資料2
- ・屋内多目的運動施設の建設について 資料3
- ・スクールバス運行について 資料4

(2) その他

5 閉会

鶴岡市教育大綱(案)

(平成27年度～平成30年度)

<基本理念>

「ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人間の育成」

<基本方針>

1 逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

本市で大切にしてきた致道館教育の理念である「自学自修」「天性重視」「心身鍛錬」を継承しながら、知・徳・体が調和し、意欲と活力のあふれる子どもを育成します。

また、複式学級のある学校が増加傾向にあることから、子どもたちにとって望ましい学校の規模、学区、配置、通学方法などについて総合的な検討を行い、適正な教育環境の整備を進めます。

さらに、グローバル化に対応できる英語教育の強化など、新たな課題に取り組むとともに、既存学校施設の耐震補強や長寿命化など、将来を見据えた事業の推進を図ります。

2 多様な学習活動を支援する環境づくりの推進

多様化・高度化する地域の様々な課題に対応するための学習活動を支援し、お互い自立し支え合う心豊かな地域社会づくりを推進するとともに、社会教育施設が地域社会に役立つ機能を発揮するために、適切な事業運営ができる体制を整備します。

様々な機会を活用し、家庭の教育力を高め、豊かな自然環境の中での学びや多様な体験を通じて、子どもたちの心身共に元気で逞しい成長を促進します。

3 豊かな感性を高める文化の振興

本市の特性である優れた文化活動の伝統を継承発展させるため、市民主体の芸術活動を一層促進するとともに、広く内外の優れた芸術の鑑賞、体験、交流ができる活動環境の整備を進めます。

また、文化財をはじめとした有形無形の文化資源について、住民自らが地域の文化を理解しながら後世に継承できるように、地域住民の主体的伝承活動を支援します。

4 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

市民誰もが日常生活のなかで目的や志向に応じて、いつでも、どこでもスポーツやレクリエーションに親しむことができるように、スポーツ施設の適切な管理運営、整備を進め、心身の健康の保持増進を図るとともに、青少年がより充実したスポーツの指導を受けることができる環境を整備します。

〔鶴岡市の学力向上策について〕

資料 1

鶴岡市教育委員会

- 基本目標 「子ども一人一人が意欲的に取り組む学習指導の充実」
- 施策の柱
- 1 「わかる・できる」楽しい授業づくりの推進
 - 2 基礎・基本の確実な定着と発展的学習の充実
 - 3 指導方法や指導体制を工夫し、評価を生かしたきめ細やかな指導の推進
 - 4 子どもの心を豊かにし、多様な学習を可能にする図書館利用の推進
 - 5 地域理解・国際理解教育の推進と外国語活動の充実

鶴岡市教育委員会では、「子ども一人一人が意欲的に取り組む学習指導の充実」をめざして、以下のような取組を実施します。

鶴岡市学力向上アクション・プラン

主要施策	関連事業
1 「わかる・できる」楽しい授業づくりの推進	
(1) 授業の基盤となる、親和的な人間関係と規律のある学級づくり	教育諸検査事業（Q-U）
(2) 「わかる・できる」授業づくりの推進に向けた研修の充実 重点教科：算数・数学、国語	授業づくりアドバイザー派遣事業
(3) 科学技術に対する興味・関心を高める指導の研究	科学技術教育振興事業
2 基礎・基本の確実な定着と発展的学習の充実	
(1) 確かな学力をめざした指導法の研究・研修の充実	小・中教科書整備事業
(2) ICT やデジタル教材等を活用した指導方法の工夫	教科書整備事業・教育指導事業
(3) 教育諸検査を活用した PDCA サイクルによる学習指導の工夫・改善	教育諸検査事業（知能・学力）
(4) 全国学力・学習状況調査結果を基にした学校への情報提供および指導改善に向けた指導・助言	
3 指導方法や指導体制を工夫し、評価を生かしたきめ細やかな指導の推進	
(1) 指導方法等研修支援（※教育講演会、夏季研修講座等）	教育指導事業
(2) 小中連携による学力向上（中学校区におけるブロック研修の充実）	教育指導事業
(3) 「探究型学習」の推進（※協力推進校への指導・支援、取組紹介）	探究型学習推進プロジェクト事業
(4) 小規模校における教育の質の確保・学力の維持向上	小規模学校支援事業
(5) 指導主事等の学校訪問による指導・助言	
4 子どもの心を豊かにし、多様な学習を可能にする図書館利用の推進	
(1) 図書館活用に向けた校内体制と図書館環境の整備	学校図書館業務支援員派遣事業
(2) 学校における読書活動推進の取組への指導・支援	（鶴岡市読書活動推進計画）
5 地域理解・国際理解教育の推進と外国語活動の充実	
(1) 「総合的な学習」「生活科」における効果的な実践の推進	特色ある学校づくり推進事業
(2) 小・中・高の連携による外国語活動・英語教育の推進	外国語教育振興事業

〔各教科の解答状況から見られる特筆すべき傾向〕

小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読み書きはよくできており、言葉のきまりの知識も身につけている。 ○ 適切なものを選択したり、引用している言葉を書き抜いたりするような、正しいかどうかと比較的はつきりわかるような問題は、全国比で正答率が高い傾向にある。 ▲ 話したり聞いたり、書いたり、読んだりする目的や意図に応じ、複数の情報を関係付けた上で、条件に合わせながら自分の考えをまとめて記述することに課題がある。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見取り図を基に展開図に必要な面の大きさを読み取ったり、グラフに表されている事柄を読み取ったりするなど、情報を読み取る力はついている。 ▲ 日常生活の事象の解決に、目的に応じて既習事項を活用して、処理したり判断の理由を表現したりすることに課題がある。 ▲ 基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 覚えたことを解答するもの(メダカの雌雄の見分け方、観察・実験器具の名称等)はよくできている。 ▲ 観察、実験の結果を整理し、考察して分析した内容を、根拠や理由を示しながら記述することに課題がある。
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の読み書きや、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することはよくできている。 ▲ 複数の資料から適切な情報を得て、その情報と自分の考えを関連付けて具体的に書くことに課題がある。また、文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。 ※〔B書くこと〕に弱さがある
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な計算や空間図形の読み取り、実際の資料を整理したりするような解決方法がはっきりしているものは得意である。 ▲ 〔関数〕領域は設問全般において正答率が低い状況であり、関数の意味理解が不十分である。 ▲ 与えられた情報から必要な情報を選択し的確に処理すること、その結果を事象に即して解釈し、数学的な表現を用いてその理由を説明することに課題がある。 ▲ 図形の性質を用いて問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物質を科学式で表したり天気図から風力を読み取ったりするなどの基礎的・基本的な知識は身につけている。 ▲ 知識と事象を関連付けて分析し解釈することや、自然の事物・現象の中に問題を見いだして、課題を設定し、予想や仮説を立ててそれを検証する実験を計画することが苦手である。また、「課題に正対した考察をする」という視点で、観察・実験の結果に基づいて、自らの考えや他者の考えを検討して改善することに課題がある。

〔児童・生徒質問紙より捉えられるよさと課題〕

小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規範意識が高く、やるべきことに一生懸命取り組もうとする児童が多い。また、人の気持ちのわかる人になりたい、「いじめはいけないこと」、「人の役に立ちたい」と思っている児童も多い。 ○ 読書好きな児童が多く、学校図書館の利用も積極的である。 ▲ 「算数が好き」「算数の授業がよくわかる」と回答した児童の割合は、全国平均を下回る結果となり、算数に苦手意識を感じている児童が多い状況にある。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平日、家庭学習に2時間以上取り組む生徒の割合は全国と同程度だが、休日にも同様に取り組んでいる生徒は6割を超えており、自分で計画を立て、復習中心に、学習に取り組む生徒が多い。 ○ 地域を大切にし、地域行事への参加も積極的である。 ▲ 携帯電話やスマートフォンの利用時間(通話やメール・2時間以上)は全国よりも低い。また、昨年度の結果よりも改善されているが、1日当たりの2時間以上、テレビ等の視聴する生徒は6割を超えており、全国と比較しても高い状況にある。

〔学校質問紙より捉えられるよさと課題〕

小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校において、児童一人一人のよさを認め、個に応じた指導の充実が図られている。 ▲ 国語においては目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業について、算数・理科では、実生活における事象との関連を図った授業についての実施率が全国平均より低い。また、ICTを活用した授業や自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた授業の割合も低い状況である。 ▲ 知識・技能の活用重点をおいた指導計画の作成及び言語活動に重点をおいた指導計画の作成が課題である。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校とも学習規律の維持を徹底しており、生徒が授業に落ち着いて取り組む良好な状況にある。 ▲ 国語・数学・理科ともに、補充的な学習の指導や発展的な学習の指導を行っている割合は全国に比して低い。また、実生活における事象との関連を図った授業の実施率も全国に比して低い状況である。 ▲ 総合的な学習の時間において課題設定からまとめ・表現に至る探究過程を意識した指導に課題がある

【H27 全国学力・学習状況調査から捉えられる本市の課題】

- ◇ 算数・数学の学力及び「活用力」の向上
- ◇ 探究的な総合的な学習の時間の展開
- ◇ ICTを活用した協働学習（子供同士が教え合い学び合う学習）、課題発見・解決型の学習指導
- ◇ 各教科における「補充的学習」の指導
- ◇ 各教科における「発展的学習」の指導
- ◇ 教科の指導内容や指導の工夫についての小中連携
- ◇ 知識・技能の活用に重点をおいた指導計画の作成
- ◇ 言語活動に重点をおいた指導計画の作成

上記の課題を踏まえた

授業改善への提言

〔授業改善の視点と構想〕

- 授業の基盤となる、親和的な人間関係と規律のある学級づくり
授業の基盤となるのは安定した学級経営です。子ども同士がよさを出し合い、認め合い、共に高まり合う授業の支えとなる、親和的な人間関係と規律のある学級集団づくりを大切にしましょう。
- ねらいを明確にした「わかる・できる」授業づくり
以下の視点を参考に、これまでの実践を振り返り、授業改善に向けて指導を工夫してみましょう。
 - 目標・ねらいの適切かつ明確な設定
 - 主体性・意欲・必要感の持てる学習課題及び提示の工夫
 - 子どもの思考の流れを大切に学習過程（指導過程）の設計
 - 一人一人を生かす学習活動や指導方法の工夫
 - ペア学習、グループ学習などの、児童生徒同士がかかわり合い、学び合う場の設定
 - 習得したことを活用する場を用意
 - 授業での学び（指導）を振り返り、自分の学び（指導）に生かす評価
- 教科等のねらいを達成する「わかる・できる」授業を実現するためのICTの効果的な活用
ICT活用のよさ（情報を瞬時・連続的に提示できる、視覚化できる、イメージを共有できる等）を生かし、授業のねらいに迫るためのツールとして効果的に活用することが望まれます。
- 知識・技能の習得と活用を重視した学習指導の重視
「基礎・基本の力」も「活用力」も、日々の授業の中で身につけていくものであり、「習得」したことを他の場面で「活用」することを意識した授業を積み重ねていくことが大切です。特に、本市において、学力向上が望まれる算数・数学科においては、活用力の育成につながる「数学的な考え方」を育む授業づくりが大切です。授業においては、習得した知識・技能を活用する段階で、思考の伴った学習活動になるように「思考の焦点化」を図っていくことに留意しましょう。
また、実生活における事象との関連を図っていくことも授業改善のポイントです。授業の導入に学習内容と関連した生活の話題を取り入れたり、生活の中の課題を既習の内容を活用して解決させたりするなど、日常生活との関連を意識した授業を構想してみましょう。
- 探究的な総合的な学習の時間の展開
現状および課題から、総合的な学習の時間のさらなる充実が期待されます。以下の視点から、自校の実践を振り返り、指導改善に向けて工夫しましょう。
 - 総合的な学習の時間の目標を踏まえ、全体計画及び年間指導計画の改善を図る
 - 横断的・総合的な学習や探究的な学習を生かした授業の展開を工夫する
- 内容の系統性を考慮した指導の重視 ～小中連携による取組の推進～
学習指導要領では、学年・学校段階間におけるスパイラル学習をはじめ、言語活動、理数教育、道徳教育等の系統的な指導が重視されています。小・中学校ではそれぞれの段階において付けるべき力をしっかりと身に付けるとともに、双方が児童生徒の課題を共有し、発達段階に応じた教育課程上の工夫を図ることが必要です。学力向上や心の教育の充実を図るため、本市における各中学校区ブロックにおいて、小・中学校9年間の育ちや学びを見通して、カリキュラムを作成したり、内容の系統性を考慮した指導のあり方を工夫したりする小中連携の取組が一層進展していくことを期待します。

1 事業の概要

本アンケートの実施を通して、学校生活における児童生徒個々の意欲や満足度及び学級集団の状況を把握し、いじめ・不登校・学級崩壊等の発見や予防、良好な学級集団づくりをめざす。また、児童生徒を取り巻く環境が多様化している中、児童生徒個々の状態の変化や集団への適応状況の変化を把握し、適切な対応を図る。

本アンケートは、年間 2 回実施して児童生徒の変容を把握することで指導の効果を高めるため、全校に 2 回分の予算を措置したいところであるが、平成 28 年度においては統合校のみ 2 回実施することとし、全校 2 回実施については今後検討していく。

統合校については、各担任が新たな集団を構築していくにあたって学級内の人間関係を客観的に捉えたり、環境が変わったことによって集団に適応できずにいる児童へ早期に対応したりする必要があるため、優先的に 2 回分の予算を措置する。

2 活用状況

前述のとおり、本アンケートは 2 回実施が効果的であるため、市予算に加えて学校予算や保護者集金によって年間 2 回実施している小中学校がほとんどである。

アンケート実施後は、各校において結果分析と対策を検討する校内研修会を開催したり、市教委で開催している研修会に参加したりして、アンケート結果を活かしている。

市予算で実施した過去 2 年間の結果、全体としては全国を大きく上回って安定していると言えるが、その中で課題として捉えているのは、①いじめやトラブルはなくとも「認められていない」と感じている児童生徒がいること、②小学校中学年で満足度が若干落ちていること、③少人数学級であっても、人間関係の固定などにより満足度が落ちることがあること、である。

本アンケートにより児童生徒が安心して通うことができる学級づくりをしようという意識が高まっており、課題を共有しながら各担任が具体的な実践を重ねている。

3 予算について

○Q-U アンケート 単価 3 1 0 円（用紙代 1 0 5 円 診断料 2 0 5 円）

○予算要求額 小学校 2, 3 7 9 千円 中学校 1, 0 8 7 千円

○現在の人数による算出状況

小学校	6, 3 7 9 人 × @ 3 1 0 = 1, 9 7 7, 4 9 0
統合小学校	1, 2 9 5 人 × @ 3 1 0 = 4 0 1, 4 5 0
中学校	3, 5 0 8 人 × @ 3 1 0 = 1, 0 8 7, 4 8 0
合計	3, 4 6 6, 4 2 0

○対象統合校 H 2 6 ~ 朝暘第四小学校 ・ あさひ小学校
 H 2 7 ~ 豊浦小学校
 H 2 8 ~ 広瀬小学校 ・ あつみ小学校

鶴岡市体育施設整備計画（素案）

I スポーツ施設整備事業

- ①西部地区運動場整備事業
 - ・五中学区拠点体育館
 - ・屋内多目的運動場
 - ・人工芝多目的グラウンド
- ②三中学区拠点体育館整備事業
- ③人工芝サッカー専用グラウンド整備事業

II 体育施設大規模改修事業

- ①小真木原テニスコート人工芝改修事業
- ②小真木原野球場スコアボード得点表示部改修事業
- ③小真木原公園南多目的広場プレハブ倉庫改修事業
- ④屋内体育施設耐震化改修事業
 - ・市民プール
 - ・朝暘武道館
 - ・羽黒体育館
 - ・櫛引スポーツセンター
 - ・朝日スポーツセンター
 - ・藤島体育館
 - ・小真木原総合体育館

III 過疎地域自立促進事業

- ①朝日地域
 - ・スポーツセンター外壁修繕
 - ・スポーツセンター防火扉改修
 - ・テニスコート人工芝改修
 - ・テニスコート防風ネット改修
 - ・スポーツセンター屋内照明 LED 化工事
- ②温海地域
 - ・総合運動場外野フェンス改修
 - ・総合運動場夜間照明塔改修
 - ・テニスコート舗装改修
 - ・テニスコート防風ネット改修

ふるさと鶴岡の歴史・自然・文化・人々に学ぶ

学校・地域との連携

- ◆学校行事
- ◆授業
 - 教科の学習
 - 総合的な学習
 - クラブ活動、部活動
- ◆PTA活動
- ◆地域(コミセン・自治会)の活動

- ◇「親子で楽しむ庄内論語」の活用
「致道館」教育の精神に学ぶ
- ◇「鶴岡市子ども像」の意識化
体験作文の募集, 子ども像指導資料集の活用
- ◇加茂水族館等の見学と体験活動
海の学習をとおして海辺の自然に触れる
- ◇致道博物館等の見学と体験活動
ふるさと鶴岡の歴史, 伝統, 風土に触れる
- ◇冬の自然やスポーツに親しむ体験活動
スキー・スケート学習
- ◇英会話に親しむ活動
異文化への興味, コミュニケーション力
- ◇「学区内地域学習」
統合(予定)校における地域学習

関係機関との連携

- ◆庁内連携
各地域庁舎, 福祉課
健康課, 子育て推進課,
商工課, 観光物産課
農山漁村振興課 等
- ◆各種イベント, 事業
- ◆ボランティア活動

特色ある学校づくり



鶴岡の良さに触れ, 体験し,



鶴岡を語り, 愛し, 誇りに思い,



鶴岡に貢献できる大人へ...